

# 宿泊約款

## (適用範囲)

第1条 THE HOTEL SANRAKU KANAZAWA (以下、「当ホテル」とします。)が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとし、

2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

## (宿泊契約の申し込み)

第2条 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金(原則として別表第1の基本宿泊料による。)
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

## (宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときはこの限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金を支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

## (申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

## (宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
  - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条2号に規定する暴力団(以下、「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員または暴力団関係者その他反社会的勢力
  - ロ 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
  - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員(従業員)に対し、暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき、また、かつて同様な行為を行ったと認められるとき。
- (7) 健康状態、もしくは携帯品等によって他の宿泊者に衛生上、又は安全上危惧の念を抱かせる恐れがあるとき。
- (8) 宿泊しようとする者が、伝染病伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 宿泊しようとする者が泥酔により、他の宿泊客に迷惑を及ぼす恐れがあるとき。他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動があるとき。  
(石川県条例)

## (宿泊客の契約解除権)

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又はその一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。

3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

## (当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
  - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他反社会的勢力
  - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動の支配する法人その他の団体であるとき
  - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (4) 健康状態、もしくは携帯品等によって他の宿泊者に衛生上、又は安全上危惧の念を抱かせる恐れがあるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (7) 宿泊しようとする者が泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑をおよぼす言動をしたとき。(石川県旅館業法施行条例第12条の規定より)

(8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。

- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。ただし、前項6号以外の事由による場合にはまだ提供を受けていない宿泊等のサービス等の料金相当額の違約金を申し受けます。この場合、第18条に基づき請求を妨げられるものではありません。

### (宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
  - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
  - (3) 出発日及び出発予定時刻
  - (4) その他ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

### (客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - (1) 超過3時間までは、正規料金の30%
  - (2) 超過6時間までは、正規料金の50%
  - (3) 超過6時間以上は、正規料金の100%

### (利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則、及びその他当ホテルが定める規定に従っていただきます。

### (営業時間)

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

・フロント	24時間
・フロントサービス・コンシェルジュ	24時間
・レストラン営業時間	金沢ダイニング きざはし(1階)
	07:00~11:00
	11:30~14:00 (土・日曜、祝日のみ)
	17:30~21:30
ロビーラウンジ&バー セゾン	11:00~23:00

- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

### (料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

### (当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 消防機関から消防法令適合通知を受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

### (契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

### (寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは3万円を限度としてその損害を賠償いたします。

- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持込になった物品又は現金並びに貴重品であつてフロントにお預けにならなかったものについて当ホテルの故意または過失により滅失、き損が生じたときには、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償いたします。

### (宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、当ホテルが貴重品として判断したものについてはその後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。
- 4 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの規定について、別途預り品規定に定めるものとします。

### (駐車責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

### (宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により、当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

### (支配する国語)

第19条 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本語が全ての点について支配するものとします。

### (管轄及び準拠法)

第20条 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1 宿泊料金の算定方法(第2条第3項、第3条第2項及び第12条第1項関係)

		内 容	税 金
宿泊客が支払うべき総額	① 基本宿泊料		イ. 消費税 ①×消費税率 ロ. 宿泊税
	② 飲食料及びその他の利用料金 (サービス料 10%含む)		イ. 消費税 ②×消費税率

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

契約解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	2日前	9日前	30日前
一般	14名まで	100%	80%	50%	20%	-	-
団体	15名～29名まで	100%	80%	50%	20%	20%	10%
	30名以上	100%	100%	80%	50%	30%	15%

(注) 1 %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です、宿泊に伴う飲食料及びその他の利用料に対する違約金は申込人数に関わらず、団体30名以上の契約申込人数における取消料率を別途適用することがあります。

2 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。

3 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前における宿泊人数の10%(端数が出た場合は切り上げる。)

にあたる人数については、違約金を頂きません。

# Terms and Conditions for Accommodation Contracts

## Article 1. Scope of Application

1. Agreements between THE HOTEL SANRAKU KANAZAWA (“the Hotel”) and the Guest concerning the guest’s accommodations and any other related contracts will be subject to the Terms and Conditions written herein. Decisions on matters not specified herein will be based on related laws and generally accepted practices.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding clause, a special agreement may take precedence when the Hotel accepts it, and it does not go against the law or common practices.

## Article 2. Application for Accommodation Contracts

1. To apply for an Accommodation Contract with the Hotel, a Guest is required to provide the Hotel with the following information:

- (1) Guest name;
- (2) Date(s) of stay and scheduled arrival time;
- (3) Accommodation charges (basically subject to the indicated in attached Table 1 below);
- (4) a. Applicant’s name and address;  
b. Name and address of the person paying the accommodation charges;
- (5) Other matters that the Hotel deems necessary.

2. The Hotel considers a new application for an Accommodation Contract to have been made when the Guest requests extension of his/her stay beyond the date indicated in item 2 of the previous clause.

## Article 3. Conclusion etc. of Accommodation Contract

1. An Accommodation Contract shall be presumed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application indicated in the previous article. However, this does not apply if the hotel provides evidence of the absence of its approval.
2. When an Accommodation Contract is concluded in accordance with the provisions of the previous clause, the Guest is required to pay an accommodation deposit by the date specified by the Hotel. The deposit amount is specified by the Hotel and will not exceed the total amount due indicated in Table 1 below for the relevant period of stay.
3. An accommodation deposit will first be used for the accommodation charges the Guest will finally pay. Any situations to which Article 6 and 18 apply may involve cancellation charges and damage compensation in this order. The remaining amount, if any, will be refunded at the time of payment made in accordance with the provisions of Article 12.
4. If a Guest fails to pay the accommodation deposit indicated in the second clause by the date specified by the Hotel in accordance with the provisions of the same clause, the Accommodation Contract with the Guest is no longer effective. However, this will apply only where the Hotel informs the Guest of the deadline for payment of the accommodation deposit.

## Article 4. Special Contracts not Requiring Payment of an Accommodation Deposit

1. Notwithstanding the provisions of the second clause of the previous article, the Hotel may accept a special agreement that does not require payment of an accommodation deposit, indicated in the same clause, after conclusion of the contract.
2. If the Hotel does not require payment of an accommodation deposit as indicated in the second clause of the previous article and does not specify a deadline for payment of that fee by accepting an application for an accommodation contract, the Hotel may be deemed as accepting the special contract indicated in the previous clause.

## **Article 5. Refusal of an Accommodation Contract**

1. The Hotel may reject an Accommodation Contract in any of the following cases:

- (1) The application fails to comply with the Terms and Conditions;
- (2) Rooms are occupied, and no vacancy is available;
- (3) The person intending to stay at the hotel is suspected of violating laws, public order or morals related to his/her accommodations;
- (4) a. The person intending to stay at the Hotel is a member of an organized crime group or a member of organized crime group as prescribed by the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 2, 1992) (hereafter called “an organized crime group” or “a member of an organized crime group) or relevant persons or other antisocial persons;  
b. The person intending to stay at the Hotel is a corporation or an organization managed by an organized crime group or a member of organized crime group;  
c. The person intending to stay at the Hotel is a corporation which has a member of an organized crime group on its board.
- (5) The person intending to stay at the Hotel verbally or behaviorally causes significant disturbance to other Guests;
- (6) The person intending to stay at the Hotel is violent, makes a threat, carries out blackmail, makes an imperative and unjust request or requests responsibility beyond limit on the part of the Hotel or its staff, or has carried out similar conduct before;
- (7) The person intending to stay at the Hotel has significantly annoyed other Guests;
- (8) The person intending to stay at the Hotel is deemed to obviously have an infectious disease or other toxic or contagious illness;
- (9) The person intending to stay at the Hotel cannot be accommodated due to natural disaster, equipment failure or other unavoidable reasons;
- (10) The person intending to stay at the Hotel is too intoxicated to speak or behave normally and may disturb other guests (Ishikawa Prefectural Ordinance).

## **Article 6. Rights of Guest to cancel an Accommodation Contract**

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.

2. In case the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except when the Hotel has specified the date of payment of the deposit and requested the payment of the deposit as prescribed in clause 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before such payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the attached Table No.2. However, in case a special contract prescribed in clause 1 of Article 4 has been concluded, the Guest shall pay such charges only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

3. In case the Guest does not appear by 20:00hrs of the accommodation date (or within 2hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being canceled by the Guest.

## **Article 7. Rights to cancel Accommodation Contract by the Hotel**

1. The Hotel may cancel an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed to conduct and/or have conducted himself a manner that will go against the laws, or act against public order and good morals in related to his/her accommodations;
- (2) a. The Guest is a member of an organized crime group, or a member of organized crime group as prescribed by the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 2, 1992) , or relevant persons or other antisocial persons;  
b. The Guest is a corporation, or an organization managed by an organized crime group or a member of organized crime group,  
c. The Guest is a corporation which has a member of an organized crime group on its board,
- (3) The Guest is deemed to obviously have an infectious disease or other toxic or contagious illness;



**Article 11. Business Hours**

1. Business hours of main facilities, etc. of the Hotels are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notice displayed in each place, service directories in guest rooms and others.

FRONT DESK	24HRS.		
FRONT SERVICES	24HRS		
RESTAURANT			
Kanazawa Dining	KIZAHASHI (1 <sup>st</sup> Fl.)	Breakfast	7:00 – 11:00
		Lunch	11:30 – 14:00 (Saturday, Sunday and national holidays)
		Dinner	17:30 – 21:30
		Bar (1 <sup>st</sup> Fl.)	11:00 – 23:00

2. The business hours specified in the preceding clause are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

**Article 12. Payment**

1. The breakdown and method of calculation of accommodation charges etc. which the Guest shall pay are as listed in the attached Table No.1.
2. The accommodation charges etc. indicated in the previous clause shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as travelers' checks, hotel vouchers, or credit cards accepted by the Hotel at the front desk upon arrival or request by the Hotel.
3. Accommodation charges will be claimed even if the Guest does not occupy the contracted guest room at his/her discretion after a room was provided and became available for use by the Guest.

**Article 13. Liabilities of the Hotel**

1. The Hotel shall compensate for any damages incurred by a Guest as a result of the hotel's fulfilling or failing to fulfill an accommodation contract or other related agreement. However, this may not apply when the damage is not deemed as attributable to the hotel.
2. The hotel has received a fire-prevention safety mark from the local fire department. To strengthen its preparedness for fire-related accidents, etc., the hotel is insured by Hotel Liability Insurance.

**Article 14. Handling when unable to provide Contracted Rooms**

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. Notwithstanding the provisions of the previous clause, the Hotel will pay the guest compensation, if it fails to recommend other accommodations. The compensation will be appropriated to the amount of damages. If the unavailability of a booked room is not due to a fault of the Hotel, however the Hotel will not pay compensation.

**Article 15. Handling of Deposited Articles**

1. The Hotel shall compensate the Guest for the damages when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except when such has occurred due to causes of force majeure.

If the articles that a guest deposits with the hotel are lost or damaged, the Hotel will compensate for the damage unless it resulted from unavoidable reasons. However, if the deposited articles are cash or other valuables and the Guest failed to inform the front desk of the type and value of the article, the Hotel will not pay more than 30,000 yen for damages on the article.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused through intention or negligence on the part of the Hotel to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, if the Guest failed to inform of the type and value of the articles, the Hotel will not pay more than 150,000 yen for damages on the articles.

#### **Article 16. Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest**

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it only when a request to keep the baggage/belongings has been accepted by the Hotel. The baggage/belonging shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his/her check-in.

2. When a Guest checks out and leaves his/her baggage or belongings behind, the Hotel shall inform the owner and ask for further instructions only when the Hotel has found out the owner of the articles. The Hotel shall keep the baggage / belongings for seven days including the day the Hotel has found out the articles, when no instruction has been made by the owner or the owner has not been found, and upon the expiration of this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station in accordance with the relevant provisions of the Lost Property Act.

3. The liability of the Hotel concerning the keeping of baggage or belongings of Guests will be pursuant to the provisions of the first clause of the previous Article when the first clause of this Article applies, and to the provisions of the second clause of the previous Article when the second clause of this Article applies.

4. The policy of the Hotel concerning the keeping of baggage or belongings of Guests is listed in the baggage handling policy.

#### **Article 17. Parking**

1. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damages caused through intention or negligence on the part of the Hotel with regard to the management of the parking lot.

#### **Article 18. Guest' liability**

1. The guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

#### **Article 19. Language**

1. The Terms and Condition for Accommodation Contract is written in both Japanese and English. However, if there are discrepancies between the Japanese- and English-language contracts, the Japanese shall take precedence in all cases.

#### **Article 20. Jurisdiction, Governing Law, Choice of Forum**

1. These Terms & Conditions and any dispute arising out of or related to the Terms & Conditions shall be governed in all respects by and construed and enforced in accordance with the laws of Japan, without regard to its conflicts of law principles. Any claims, legal proceeding or litigation arising in connection with the Terms and Conditions for Accommodation Contracts will be brought solely in Japan, and the Guest consent to the jurisdiction of such court.



**Attached Table 1: Calculation Method for Accommodation Charges, etc.**

**(Ref. the 3rd clause of Article 2, the 2<sup>nd</sup> clause of Article 3 and the 1st clause of Article 12)**

Total amount due		Breakdown
	Accommodation charges	1) Reservation Fee (room rate (or room rate + breakfast charge)  + dinner charge
	Additional charges	3) Charges for meals and drinks (or additional meals and drinks for non-breakfast occasions) and other additional service  4) Service charge ((3) x 10%)
	Tax	a) Consumption tax  b) Accommodation tax

**Remarks:**

1. If the applicable tax law is amended, the amount for (a), (b), and (c) above will be decided in accordance with the amendment.

**Attached Table 2: Cancellation Charges**

		Time that notification of cancellation of agreement is made					
Number of Guests Booked		No stay and no notification	On the scheduled arrival day	1Day Prior to the scheduled arrival day	2 Days Prior to the scheduled arrival day	9 Days Prior to the scheduled arrival day	30 Days Prior to the scheduled arrival day
Individual	1 to 14	100%	80%	50%	20%	-	-
Group	15 to 29	100%	80%	50%	20%	20%	10%
	30 and more	100%	100%	80%	50%	30%	15%

**Remarks:**

1. The above percentages represent the ratio of cancellation charge to the Reservation Fee.

2. When the number of days contracted has been shortened, a cancellation charge for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.

3. For the cancellation of group guests (15 or more people), the cancellation charge shall not be charged if the number of people canceled is less than 10% of the total number of people booked as of 10 days prior to the scheduled arrival day with fractions counted as a whole number.